

令和 3 年度 学校評価 関係者評価票

学校名：兵庫県立千種高等学校

1 学校教育目標

郷土を愛する心と純真素朴な気風を育み、たくましい身体と強い意志をもって自立し、命と人権を大切に社会に貢献する、こころ豊かで自立した人づくりをめざす。

2 重点目標

- ①地域になくなくてはならない「信頼される学校」、「魅力ある学校」づくりの推進を図る。
- ②特色ある3類型と特色ある教育課程を編成し、確かな学力と人間性をそなえた生徒の育成を図るとともに、自己実現と進路目標の達成を図る。
- ③教職員の資質と実践的指導力の向上を図る。
- ④互いを認め合う望ましい人間関係を築きながら、食育・福祉教育や安全教育の推進を図る。

4 総合的な学校関係者評価

○学校教育目標に沿った人間造り、生徒達の立ち居振る舞いを見ていると結果が出ている。  
 ○先生の努力、生徒達はそれを見て信じて「和」を作っているのでしょう。  
 ○ここ2年はコロナコロナで窒息しそうな日々でしたが出口が見えてきています。4月30日の「映画祭」の成功を祈念しています。  
 ○コロナ禍の中で教職員の皆様には丁寧に誠意をもって学校運営をしてくださり、まことにご苦労様です。今後ともよろしく願います。  
 ○千種川の水のうまさで「お米甲子園」金賞おめでとうございます。  
 ○千種町外から「千種高校へ入学したい」との声を聞くことが多い。これからも魅力ある学校づくりに努めてほしい。  
 ○今後他の校区からの生徒がどうなるかわかりませんが、今の千種の校風をいかして頑張ってください。

3 自己評価結果

※評価点は、4点満点

○：良好な評価 ◇課題等

No. 1

	実践目標	実践項目	3年度	3年度	2年度	課題・改善策等	自己評価、改善策の適切さに関する学校関係者評価
			2月評価	7月評価	2月評価		
1	地域になくなくてはならない「信頼される学校」、「魅力ある学校」づくりの推進を図る。	ホームページの充実を図り、学校の様子を随時発信する。	4.0	3.8	3.8	○教頭先生が毎日更新してくださり、生徒達の様子を広報できている。 ◇自身が参加していない行事や他の部活動の状況も把握できてよかった。しかし、コロナ的な目線でみると、徹底できていない部分も公になる場合もあり、クラスターが発生した場合矛先になりえる。 ◇教員がブログをあげられる仕組みがあるとよいと思う。 ◇教頭先生が異動となれば誰が引き継ぐのか。	○中高合同体育祭や合同マラソン大会では、高校生が小中学生をリードしていく姿勢が大変すばらしい。 ○マラソン大会が実施できてとても良かったです。先生方には種々工夫をこらして、何かと準備も進めてくださり、千種高校の皆さんが先頭になってすばらしい連携行事になったと思います。 ○録画・リモートの方法もあるが校舎に入り、先生生徒と身近に接して感じられるもの・・・コロナの終焉を切に願っております。 ○「農」に対する取組み評価します。少ないながらも地域の和のための種々の活動認めています。 ○ホームページ、ブログにより学校生活がよくわかり、保護者の間でも好評である。 ○「日本一おいしい米コンテスト」で金賞を獲得したことは、千種の連携教育を全国にアピール出来たと思う。 ○中高の体育祭も半日であったが、中身の濃いものであり、大変良かったと思う。 ○コロナウイルスの関係で状況に応じてオンラインで参加出来る状態がつけられたら良いと思います。
2		学校行事、授業参観等を実施し、開かれた学校づくりに努め、その感想や意見を学校経営に役立てる。	3.4	3.4	3.2	○ブログを公開していることで開かれた学校になっている。 ○授業アンケートの実施により、生徒の感想が授業等に反映しやすい。 ○コロナにより授業参観が2年連続で中止となった。今後学年ごとに開催などの工夫が必要である。 ◇来年度は学校行事を録画やリモートで配信できないか検討したい。 ◇コロナ禍では、開かれた学校作りは難しい。	
3		生徒が地域と関わる機会を増やし、地域社会の発展を願う気持ちを高揚させる。	3.8	3.6	3.3	○お米の販売や古民家改修などコロナ禍でも出来る新たな取組が出来ている。 ○千種まちづくり委員会に参加するなど、生徒会活動がとても活発になっている。 ○ペナントアートなど生徒会以外の生徒も参加することができたのはよかった。 ◇生徒会の生徒が忙しくなりすぎないように精選する必要がある。	
4		千種町園小中高連携一貫教育推進事業との連携を深め、まちづくり活動を推進する中で、「行きたい高校」として本校の存在を身近に感じさせる。	3.6	3.7	3.4	○昨年実施出来なかったマラソン大会はよい交流になったと思う。 ○小中高合同の田植え、稲刈りは新しい試みで良かったと思う。 ◇連携行事が中止になるケースがあり、関係が希薄になっている。	
5		行事や授業を通じて「連携型中高一貫教育校」の定着、発展を図る。	3.8	3.6	3.3	○今年はマラソン大会が実施でき、生徒も職員も連携行事のすばらしさを実感できたと思う。 ○体育祭も軌道に乗ってきたと思う。 ○小中高連携米作りを行うなど連携は定着している。	
6	特色ある3つの類型と特色ある教育課程を編成し、確かな学力と人間性をそなえた生徒の育成を図るとともに、自己実現と進路目標の達成を図る。	挨拶の励行等基本的生活習慣および品格ある自覚した行動の確立に努めさせる。	3.6	3.8	3.6	○学校外でも元気のよい挨拶をする生徒が増えており、良い習慣が定着してきている。 ○学校外で生徒の善い行動の連絡が入るようになってきている。 ◇夜更かしなど生活習慣の乱れが気になる。	○コロナのこともありますが、就業体験で色々な体験活動に取り組んでください。 ○基本的生活習慣が定着することは人間にとってとても大切なことである。 ○ふるさと貢献活動、就業体験、ふれあい育児等はなんとかして実施していただきたいと思う。 ○自ら考え自ら積極的に行動が出来ている。 ○映画祭、企画そして実践に向けての頑張り、さらには地域への発信よくやっている。 ○各種大会競技へのチャレンジいいねー。頑張れ ○ユースサミット等、生徒主導の取組ができ、本当にすばらしい。 ○基本的生活習慣は出来ていると思うが、家庭での学習の課題等はもう少し見直した方が良いのでは。
7		教科指導・総合的な探究の時間等を通して、生徒が自己の意見を論理的に明確に表現できるよう指導に努める。	3.4	3.5	3.7	○お米の活用方法を生徒自身で考えられたのがよかった。 ○ICTを活用した探究ができるようになってきている。	
8		ふるさと貢献活動、就業体験、ふれあい育児等の体験的活動を多く取り入れ、生徒個々の自己有用感を高める。	3.4	3.5	3.6	◇コロナの関係で就業体験がほとんどできなかったの、形を変えて出来ることを考えなければいけないと思った。	
9		部活動、委員会活動への参加を積極的に推進し、充実した高校生活を支援する。	3.6	3.7	3.7	○生徒会執行部の積極性と発想力には驚かされる。 ○生徒会が新しい企画に挑戦していることがよい。	
10		進路説明会やLHR・面談等を通じて、主体的な進路選択能力の育成を図る。	3.6	3.6	3.5	○個々の生徒の希望に応じた進路指導ができています。	
11		体育的諸活動を通して、心身を錬磨し、将来の社会生活でたくましく生きる体力・精神力を養う。	3.6	3.6	3.6	○体力や精神力は弱い生徒が多く、自分に甘い生徒も多いと思う。積極的に行動したり、自分を律する心を育てるようになる必要があると感じる。	

	実践目標	実践項目	3年度 6月評価	3年度 7月評価	2年度 2月評価	課題・改善策等	自己評価、改善策の適切さに関する学校関係者評価
12	教職員の資質と実践的指導力の向上を図る。	各教科において、授業研究など学習指導について工夫・改善を行う。	3.3	3.3	3.4	○ICTを活用した授業がより進んだ。 ○教科内で常に相談しながら指導を行っている。 ○生徒から授業の評価を聞く機会ができたのはよかった。 ◇教科によっては教師が一人のため難しい。 ◇伊和高、山崎高と連携できないだろうか。	○米作りについては地域の方の協力が必要である。 ○生徒の進路希望達成の上で、一人一人きめ細やかに指導していただき、最後まで助力していただくことは有難い限りです。 ○地域の人々の協力、助けには感謝。その輪に入って行ける協調性、積極的な概念を大切にしたいです。 ○ブログにより授業の様子もよくわかる。先生方が生徒の個性を生かしながらよく工夫されていると思います。 ○教科によってはわかりにくいと感じる授業のときもあると聞いているので、対応して行ってほしい。
13		教科の枠を超えた授業の公開や研修会によって相互に研鑽する。	2.6	2.6	2.6	◇授業の空き時間が少なく見に行けない。 ◇授業動画などで研修が出来ると思うので工夫したい。 ◇他校の公開授業に参加するなどしたら良いと思う。 ◇校内研究授業をやってみてはどうか。	
14		地域の人材や素材を活用した特色ある授業の取り組みを行う。	3.5	3.6	3.7	○地域の協力や助けがあり多くのことが実施でき成果も収められている。	
15		生徒の実態や能力に応じて、個に応じたきめ細かい学習指導を実践する。	3.4	3.6	3.7	○3類型の特徴を生かし、個に応じた指導ができています。	
16		課題や宿題の指導を通して、家庭学習の習慣化を図る。	3.2	3.3	3.1	◇一人一台の端末導入により、ICT機器を活用した課題の作成、提出を期待したい。 ◇中学校まで家庭学習の習慣がない生徒が多く、高校ではなかなか家庭学習の習慣が定着しない。 ◇課題が少なく、やることがないと言う生徒の声を耳にすることがある。 ◇生徒のモチベーションを高める必要がある。	
17		基礎学力の定着や資格取得のための補習を実施する。	3.4	3.4	3.3	○考査前に学力面で心配な生徒を残して指導する姿が見られたのはよかった。 ○簿記の補習などしっかり取り組んでいる。	
18		家庭連絡や家庭訪問を通して、保護者との情報交換や意思の疎通を図る。	3.3	3.6	3.3	○体調や情緒面も家庭と密に連絡をとることができている。 ○細やかで丁寧な情報交換ができている。 ○三者面談はコロナのためしづくなっているが、電話連絡等によくコミュニケーションが取れている。	
19		生徒の進路希望を達成するために、情報の収集や提供を行い、適切な進路指導を行う。	3.6	3.7	3.5	○校外やリモートでの進路ガイダンスなど多く実施されている。 ○早い段階からの意識付けや効果的なガイダンス、面接等しっかり取り組んでいる。	
20	互いを認め合う望ましい人間関係を築きながら、食育・福祉教育や安全教育の推進を図る。	マナーや規律、規範意識を高める取り組みを、ホームルーム、生徒会活動等で行う。	3.7	3.8	3.6	○小中高ユースサミットの開催により、生徒主体でマナーへの取組が見られるようになった。 ○生徒会による主体的な活動により学校が引き締まり良い雰囲気になっている。 ○学校全体としては意識を高める努力が来ている。	○マナーや規律、規範意識を高める取組において生徒主体が進められていることは大切なことで、素晴らしい結果になると思う。 ○少子化のなか、他町等からのすばらしい生徒が入学してくれている。我が校の特色が浸透しつつあるようだ。先生方の努力の賜、今後ともよろしく願います。 ○生徒会を中心とした様々な活動により、学校全体が引き締まっている。 ○情報モラルについて、今後さらに啓発に努めてほしい。 ○基本的に性格のよい子が多いのでこのあたりは心配していない。
21		生徒一人ひとりの役割や居場所を、クラスの中や様々な教育活動の場において設定する。	3.8	3.6	3.7	○生徒の個性に応じた活躍の場を見つけるよう教員が積極的に助力している。 ○生徒の自主的な取組を実現させた。 ◇生徒の自己肯定感をもっと高める必要がある。自分の存在を否定的にとらえる生徒が多い。	
22		生徒の個人面談や、日頃の声かけ指導を積極的に行う。	3.8	3.8	3.6	○今年度から実施した教師全員で、全生徒を面談しコミュニケーションが取れ、教師間でも情報共有できたことはよかった。 ○担任を中心に朝の登校指導など多くの教師が声かけを行っている。 ○生徒の些細な変化に気づき、情報共有ができています。	
23		防災教育や安全教育を、ホームルームや学校全体で行う。	3.4	3.3	3.6	◇風が吹いていたこともあるが、避難訓練後の消化訓練が短時間になってしまったのが残念だった。	
24		人権に関わる課題を知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に努める。	3.6	3.4	3.3	○公開授業（高橋先生）の内容がよかった。 ◇表面化しないSNSでの問題等がないか心配である。	
25		教育活動全般を通じて、情報の活用に伴う情報モラルの育成に努める。	3.6	3.6	3.5	○メディアコントロールも徐々に良くなっている。 ◇生徒会を中心によく活動できていると思うが、表に出てこない問題がないか心配である。	
26		キャンパスカウンセラーと連携を密に取るなど、特別な支援を要する生徒や悩みを抱える生徒の支援体制を作る。	3.4	3.6	3.6	○生徒がカウンセリングを受けやすい体制がとれている。 ◇カウンセリングを必要とする生徒が減ってきており、単発的に申し込む生徒もいる。継続的に見ていくことが必要であるため、カウンセリングの活用方法に工夫が必要になっている。 ◇カウンセリングが必要な生徒への声かけが必要である。 ◇ケース会議を行ってみてはどうか	
27		ホームルーム活動等を通じて、いじめ未然防止に向けた取組を行っている。	3.4	3.6	3.4	○いじめアンケート等を活用しながら細かく生徒の様子を共有し、未然防止につながっている。 ◇ココロ34をLHRで盛り込んでその結果を踏まえた職員研修の機会をもちたい。 ◇なぜか周りからの目が気になると悩む生徒が多いため改善方法を考えていきたい。	
28	自然や人と関わる体験活動、食育等を通じて、心身ともに健康で命を大切にしている生徒の育成に努めている。	3.6	3.6	3.6	○給食や米作りを通して食育ができていていると思う。 ○給食の残食が多いという連絡はほとんどなかったように思う。		